

肝炎ウイルス検診を 実施します！

～完全予約制です～

日本では、B型肝炎ウイルスに約150万人、C型肝炎ウイルスに約200万人が感染していると言われており、感染したまま放っておくと、肝硬変や肝がんへ進行することがあります。初期の段階で発見して、肝臓の状態を把握できれば、病気のコントロールが可能です。これまでに肝炎ウイルス検査を受けたことのない方は、この機会にご利用ください。

日時／10月25日（日）午前9時30分～午後2時

場所／保健福祉総合センター

対象／昭和45年3月31日以前に生まれた方で今までに医療機関や町の健診等で肝炎ウイルス検査を受けたことがない方。なお、過去にB型肝炎・C型肝炎検査を受けたことがある方、またはB型肝炎・C型肝炎で現在医療機関に通院中もしくは経過観察中の方は対象となりません。

定員／50人（申し込みいただいた方には後日通知します）

費用／無料

内容／血液検査（結果は後日郵送します）

予約／なお、今回は完全予約制となります。事前の申し込みがない場合は検診を受けることができませんのでご注意ください。

申し込み／9月10日（木）から10月2日（金）までに、次の方法でお申し込みください。なお、電話での申し込みはできませんのでご了承ください。

ハガキ 保健福祉総合センター宛にお申し込みください。（記載例参照）10月2日（金）の消印有効

ファックス 必要事項を記入し、10月2日（金）までに保健福祉総合センター（FAX581・8544）へ送信してください。番号はお間違えのないようお願いいたします。

窓口 保健福祉総合センターに備え付けの申し込み用紙をご利用ください。

肝炎ウイルス検診申し込み

①郵便番号・住所
〒369-1200
寄居町大字

②氏名
③生年月日
④年齢
⑤電話番号

50

3691221

保健福祉総合センター
保健指導班行
寄居町大字保田原301

問い合わせ／保健福祉総合センター（☎581・8500）へ。

- 特徴**
- ・肺炎球菌による感染症の約80％に効果が期待されます。
 - ・通常1回の接種で約5年間、免疫が持続すると言われています。
 - ・注意すること
 - ・全ての肺炎を予防するものではありません。
 - ・接種後、免疫（抗体）ができるまで平均約1カ月程度かかります。
 - ・注射部位の痛みなどの副反応が強く出ることがあるため、再接種（2回目の接種）はできません。
 - ・注射部位の腫れ、痛み、軽い発熱などがみられることがあります。通常3日程度でおさまります。

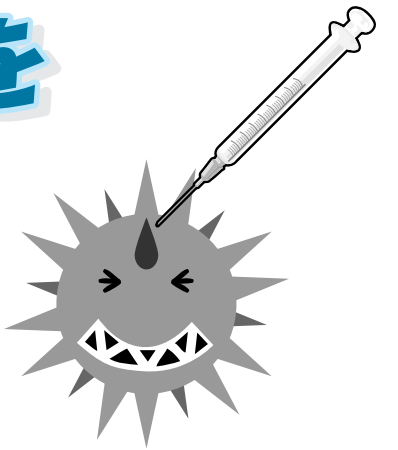
問い合わせ／保健福祉総合センター
（☎581・8500）へ。

インフルエンザ・肺炎球菌予防接種実施医療機関施設（町内）

契約医療機関	電話番号	住所
五十嵐整形外科医院	580-1482	桜沢1017-5
市川医院	581-0535	寄居1056
おぶすま診療所	582-2211	赤浜966
おぶすま第2診療所	582-3618	牟礼672
小久保医院	584-2030	用土2176-2
埼玉よりい病院	579-2788	用土395
埼玉療育園（インフルエンザのみ）	581-0351	藤田179-1
佐伯医院	581-0204	寄居988
清水医院	581-0051	寄居657
高間クリニック	581-0751	寄居671-3
田中医院	582-0015	赤浜1162
林りくろう診療所	584-7545	用土5402-6
はらしま医院	586-0081	保田原163-7
藤野クリニック	581-1035	寄居1153-1
松本医院	581-1106	寄居886-2
山田医院	581-0066	寄居953-2
山田整形外科内科医院	581-6761	桜沢218-5
用土医院	579-1555	用土2225-4
寄居本町クリニック	580-2550	寄居808-1

※インフルエンザ予防接種は町外でも可能な医療機関がありますので、お問い合わせください。

肺炎・インフルエンザを 予防しましょう！



インフルエンザに
ご注意ください！

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスによる感染症です。38℃以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が強く、あわせて普通のかぜと同様の、のどの痛み、鼻汁、くしゃみやせきなどの症状も見られます。普通のかぜとは違い、重症化すると命の危険性もあり、とくに高齢者の場合、体力や免疫力・防御力が低下し、ちょっとしたかぜから肺炎などを引き起こすことがあります。

また、慢性的な気管支炎やぜんそくなどの持病がある人は、インフルエンザをきっかけにその病気を悪化させる危険性が高くなります。インフルエンザの特徴をよく理解して予防に役立てましょう。

インフルエンザ予防のポイント

- うがい、手洗いを励行しましょう
- 必要な時以外は、人混みを避けましょう
- 過労、睡眠不足などの不摂生は避けましょう
- 十分な栄養と休養をとりましょう
- 室内の乾燥に注意しましょう

高齢者のインフルエンザ予防接種

町では、次の方を対象に、インフル

エンザ予防接種を実施します。予防接種を希望される方は、事前に医療機関に予約をしてください。予防接種を受ける際に必要な予防接種予診票（青色）は、医療機関から渡されますので、体調の良いときに接種をしてください。

接種できる期間／10月20日（火）～平成22年1月30日（土）

対象／65歳以上の方および60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害のある方（身体障害1級程度の方）

費用／無料（自己負担はありませんが、一人年1回です）

方法／町と契約した医療機関で個別に接種をします。直接、医療機関に予約をしてください。

※接種後、効果が現れるまで、通常2週間程度かかり、約5カ月間その効果が持続するといわれています。例年インフルエンザは12月下旬から翌年の1月上旬ごろに本格的な流行が始まりますので、遅くとも12月中旬までには接種を済ませることをお勧めします。

※今回の予防接種は、季節性インフルエンザ（毎年流行するもの）を予防するもので、新型インフルエンザA（H1N1）の予防接種ではありませんのでご注意ください。

肺炎球菌予防接種を
受けましょう！

肺炎は死亡原因の中で第4位となっています。高齢者の肺炎では、急速に症状が進んだ場合、抗生物質などの治療が間に合わないことも少なくありません。このため、肺炎球菌による肺炎などの予防として肺炎球菌ワクチンが開発され接種できるようになっています。町では、高齢者の皆さんの健康保持のため、肺炎球菌予防接種を受けられる方の予防接種料金の一部を助成します。この機会にぜひお受けください。

助成期間／10月1日（木）～平成22年2月27日（土）

対象／75歳以上の町民の方 ※一度、肺炎球菌予防接種を受けた方は、再度予防接種をする必要はありません。

助成金額／4,000円（予防接種料金から4,000円を差し引いた金額を医療機関の窓口にお支払いください）

方法／町と契約した町内医療機関で個別に接種をします。直接、医療機関に予約をしてください。

※特に心臓や呼吸器に慢性疾患のある方や、腎不全や肝機能障害のある方は主治医とよく相談のうえお受けください。また、脾臓摘出の方には健康保険が適用されます。

肺炎球菌ワクチンとは

肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防するワクチンです。